

# 森林や木材の博物館へ行ってみませんか？

森林や木材に関する博物館に行ったことがありますか？  
森林のしくみや、知っているようで知らない木材の歴史、  
好奇心を刺激する様々な展示物など、  
博物館には多くの発見が待っています。  
特集②では、そんな博物館をご紹介します。

## 身近な合板と地球環境をテーマにした博物館

特定非営利活動法人 木材・合板博物館

木材関連の企業が集まる新木場の木材・合板博物館は、日本で合板製造がはじまってから100年を迎えた平成19年に開館しました。

3階にある展示スペースには、森林との関わりを身近なテーマで学べる「木の姿と樹種いろいろ」、形を変えて生活を支えている木の情報を知る「木のこと

いろいろ」、森林と地球関係について学ぶ「木材利用と地球環境」、身近にある合板について学ぶ「合板を知ろう」、江戸から現代の木場の変遷を見る「木のまぢの昔と今」の5つのテーマに沿った展示があります。

木材の見本や合板を製造する機械も多数展示されていますが、特に珍しい

のは丸太から単板を作る機械・ベニヤレーンです。稼働模型は世界に1台、ここにしかないそうです。

また、4階にある「ものづくりコーナー」では、ワークショップや木工教室などのイベントも開催されています。

※木の動物が作れるワンコイン工作（参加費500円・所要時間1時間）は、開館日の15時30分まで随時参加可能。その他のイベントの開催や申し込みについてはホームページでご確認ください。

木材・合板博物館3階エントランス



木工教室  
(4階ものづくりコーナー)



合板を知ろう(3階)



ベニヤレーン(3階 水・土曜日14時から実演あり)



木のこといろいろ(3階)

- 利用案内
- 開館時間 10:00~17:00  
(入館は16:30まで)
- 入館料 無料
- 休館日 月曜日、火曜日、祝日、年末年始
- 交通アクセス
- ・JR京葉線・東京メトロ有楽町線・東京りんかい高速鉄道新木場駅より徒歩7分
- ・バス  
東京メトロ東西線東陽町駅「2」のりば/木11甲・木11折返「新木場一丁目バス停」下車、徒歩1分
- 所在地・お問い合わせ
- 〒136-8405 東京都江東区新木場一丁目7番22号  
新木場タワー3F・4F TEL 03-3521-6600
- ホームページ <http://www.woodmuseum.jp/>

## 森林と人間の結びつきを テーマにした博物館

### 青森市森林博物館

青森市森林博物館は、青森県産ヒバ材を主に利用したルネッサンス式木造建物で旧青森営林局庁舎を利用して、昭和57年11月に開館しました。

明治41年11月、本州北端の地に建設され、多くの人々に親しまれてきた由緒ある建物の本館部分を修復保存し、自然・森林と人間生活の関わりなどを学べるよう、本格的に工夫された全国初の森と木を考える博物館です。

1階には、「森と仲間達」、「木と暮らし」、「森を育てる」の3つの展示室があり、自然のしくみや、緑のある生活と文化、林業などの資料が展示されています。また、郷土玩具や木のオモチャ、遊具などがある遊びと発見の部屋もあります。2階には、「雪とスキー」、「青森とヒ



重厚な雰囲気を漂わせる博物館の外観



第4展示室「青森とヒバ」(2階)



津軽森林鉄道(日本で最初の森林鉄道)で活躍した機関車展示



特別室(旧営林局長室)

バ」の2つの展示室があり、風雪の特徴や一本ストックの展示をはじめ、八甲田山の雄大な樹氷美などが紹介されています。

また、映画「八甲田山」のロケにも使われた、明治の雰囲気をおこす旧営林局長室が特別室として復元展示されています。

- 利用案内  
開館時間 9:00~16:30  
入館料 一般240円、高校・大学生120円  
70歳以上の市民および中学生以下は無料  
休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、年末年始
- 交通アクセス  
J R 青森駅西口より徒歩10分
- 所在地・お問い合わせ  
〒038-0012  
青森県青森市柳川2丁目4番37号  
TEL 017-766-7800
- ホームページ  
<http://www.aomori-shi.shinrinhakubutsukan.jp/>



## 豊かな自然の中で林業や 自然について学ぶ博物館

### 仁別森林博物館

仁別森林博物館は、秋田市北東部の森林地帯にある林業専門の博物館です。

館内には、「仁別の森」の紹介、天然秋田スギ美林の成り立ち、仁別森林鉄道、東北森林管理局の取組、地域の森林や林業の歴史の様々な取組についてのテーマ展示や体験コーナーなどがあり、林業や秋田スギ、仁別の自然などについて学ぶことができます。

また、博物館正面には森林鉄道で活躍した貴重な機関車も展示されています。

博物館周辺には、樹齢200年を超える天然秋田スギの林もあって、散策を楽しむことができます。

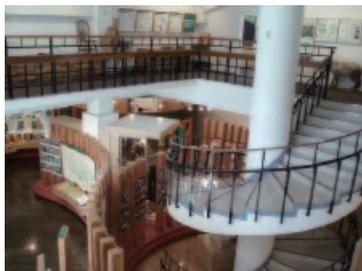
- 利用案内  
開館期間 平成25年5月19日~11月4日  
開館時間 5月~9月 10:00~17:00  
10月~11月 10:00~16:00  
入館料 無料  
休館日 火曜日、水曜日、木曜日  
(ただし祝祭日及び8月13日、8月15日を除く)
- ※悪天候や林道の状況により、予告なく臨時休館することがあります。
- 交通アクセス  
・J R 秋田駅より車で50分  
※ J R 秋田駅からの公共交通機関はありません  
・秋田自動車道 秋田中央ICより車で50分
- 所在地・お問い合わせ  
仁別森林博物館  
〒010-0824  
秋田県秋田市仁別字務沢国有林22林班  
TEL 018-827-2322
- ホームページ  
[http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/introduction/gaiyou\\_kyoku/nibetu/](http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/introduction/gaiyou_kyoku/nibetu/)



自然が豊かな博物館周辺



実物の森林鉄道車両の展示



12のテーマ展示がある館内



仁別森林博物館外観

# 日本最初の林学博士本多静六博士の 事績を振り返る記念館

## 本多静六記念館

本多静六博士(慶応2年(1866)～昭和27年(1952))は、日本最初の林学博士として日本の造林学・造園学の基礎を築くとともに、東京の日比谷公園、明治神宮の森をはじめ、埼玉県の大宮公園など、日本各地を代表する数百にも及び公園の設計に携わった人物として知られています。

今年4月にオープンした本多静六記念館は、本多静六博士の没後60年を記念し、顕彰事業の一環として埼玉県久喜市が整備しました。

館内には、本多静六博士が設計改良に携わった公園・発展策を提言した観光地のポスター展示や生い立ちの紹介、



記念館内部の全景



本多静六博士が設計した日比谷公園の模型



関係図書の展示コーナー

林学者・公園設計等に関する業績、人生哲学と社会貢献などのほか、博士が生まれ育った久喜市菖蒲地区の歴史と暮らしを紹介するコーナーなどが設けられています。



博士愛用の詰襟服(複製)

- 利用案内
  - 開館時間 9:00～17:00
  - 入館料 無料
  - 休館日 土曜日、祝日、年末年始
- 交通アクセス
  - ・JR高崎線桶川駅東口より朝日バス「菖蒲車庫」行き、「新堀」下車徒歩10分
  - ・JR宇都宮線久喜駅西口より朝日バス「菖蒲仲橋」行き、終点下車徒歩10分
  - ・自動車 圏央道(首都圏中央連絡自動車道)白岡菖蒲ICより5分
- 所在地
  - 〒346-0192 埼玉県久喜市菖蒲町新堀38
  - 久喜市菖蒲総合支所5階
- お問い合わせ
  - 久喜市菖蒲総合支所 総務管理課
  - TEL 0480-85-1111

# 木曾林業を支えた森林鉄道の 勇姿を今に伝える記念館

## 森林鉄道記念館

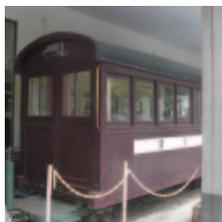
木曾の森林鉄道は大正5年(1916年)から昭和50年(1975年)まで、およそ半世紀にわたって木材輸送と地域住民の足として親しまれました。

森林鉄道記念館は、手押しのトロツコから、蒸気機関車、ディーゼル機関車の導入までの歴史がわかる資料館です。大正時代から活躍した森林鉄道の機関車や客車、資料などが展示されています。また、館内にはポールドウィン蒸気機関車が展示されていて、天気の良い日には記念撮影のために車庫から出て、その勇姿を見せてくれます。

森林鉄道記念館からは、森林鉄道の存続を望む声にこたえて保存されている



森林鉄道記念館入り口



理髪車



館内展示コーナー



展望客車(左)とポギー式ディーゼル機関車

往復2.2kmの赤沢森林鉄道に乗ることもできます(有料)。往復約25分間、当時の面影を今に残す天然林の風景の中を走る森林鉄道を楽しめます。

- 利用案内
  - 開館期間 平成25年4月27日～11月7日(期間中無休)
  - 開館時間 9:00～16:00
- 交通アクセス
  - ・塩尻ICから車で90分[65km]
  - ・中津川ICから車で90分[65km]
  - ・JR中央本線上松駅からバスで30分
- 所在地
  - 〒399-5607
  - 長野県木曾郡上松町小川入国有林
- お問い合わせ
  - 上松町観光情報センター
  - TEL 0264-52-1133



林内を走行する森林鉄道



ポールドウィン蒸気機関車(左)とディーゼル機関車



竹のフィラメントで点灯するエジソン電球



竹の歴史や生態を紹介する展示パネル



様々な竹の種類や  
工芸品を紹介する展示コーナー

## 縄文時代から現代まで、 竹のすべてがわかる資料館

### 竹の資料館

竹製品の歴史は古く、縄文時代にさかのぼるといわれています。京都の竹工芸品は平安時代(8~12世紀)にはじまったもので、茶道具や華道用具、室内装飾品など幅広い用途に用いられてきました。いずれも茶の湯文化と深い関わりをもち、桃山時代以降、大きな発展を遂げています。

京都市洛西竹林公園内にある竹の資料館の展示室では、竹の歴史的な背景や珍しい生理・生態、開花現象や竹のタネなどが紹介されています。また、発明王と呼ばれたトーマス・エジソンがマダケをフィラメントとして作った電球の復元模型をはじめ、茶筌や剣道

用竹刀、尺八など竹に関する資料も数多く展示されています。

隣接する生態園には、各地から110種におよぶ竹・笹が集められ、竹林美の自然鑑賞と竹の生態が観察できます。

- 利用案内  
開館時間 9:00~17:00  
入館料 無料  
休館日 水曜日、年末年始
- 交通アクセス  
阪急京都線桂駅下車市バス「西3・西8系統」で「南福西町」下車徒歩5分
- 所在地・お問い合わせ  
〒610-1112  
京都市京都市西京区大枝北福西町  
2丁目300-3 (京都市洛西竹林公園)  
TEL 075-331-3821
- ホームページ  
<http://www17.ocn.ne.jp/~park/B.html>



竹の資料館外観

## 屋久島と屋久杉を 知る博物館

### 屋久島町立屋久杉自然館

屋久杉自然館では、世界遺産に登録されている屋久島と屋久杉の特徴や森の成り立ち、屋久杉利用の歴史をわかりやすく紹介しています。

本館内には、日本一太い杉といわれる縄文杉の大枝「いのちの枝」をはじめ、屋久杉の利用・伐採の歴史の展示や迫力の記録映像、植物分布が一目で分かるジオラマ、屋久島の生き物などの情報がわかるコーナーもあり、屋久島と屋久杉はもちろん、島の伝統文化や産業についても学べることができます。

また、屋久杉探検館には樹齢1,660年の屋久杉や、屋久杉と屋久島の森のあゆみ、森林の生態と人々のか

かわりをテーマにした展示があります。

このほか、高さ5m、重さ8tの巨大根株展示や庭園のある別館、平成12年に毛利宇宙飛行士と宇宙を飛んだヤクスギの種から育った宇宙ヤクスギなどの屋外展示もあり、楽しみながら屋久島と屋久杉に関する知識を深めることができます。

- 利用案内  
開館時間 9:00~17:00  
(入館は16:30まで)  
入館料 大人600円、高校・大学生400円、小・中学生300円
- 休館日 毎月第一火曜日、年末年始
- 交通アクセス  
屋久島交通バス「まつばんだ交通バスヤクスギランド」行きで「屋久杉自然館前」下車
- 所在地・お問い合わせ  
〒891-4311  
鹿児島県熊毛郡屋久島町安房  
2739-343  
TEL 0997-46-3113
- ホームページ  
<http://yakusugi-museum.com/>



本館内に展示されている縄文杉「いのちの枝」



樹齢1,660年の屋久杉が  
展示されている屋久杉探検館



屋久杉自然館外観